

会 議 錄

| | | |
|----------------------------------|--|---------------|
| 会議の名称 | 第7回上尾市立平方北小学校再編検討協議会 | |
| 開催日時 | 令和7年9月30日(火) 午後3時から午後4時30分 | |
| 開催場所 | 平方北小学校 会議室 | |
| 議長(委員長・会長)氏名 | 会長 長嶋 佐央里 | |
| 出席者(委員)氏名 | 福島 穎子、伊藤 由佳、上村 友佳、本館 弘貴、佐藤 智栄、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、鮫嶋 紀子、小森 幸男、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子、廣林 達哉 | |
| 欠席者(委員)氏名 | 橋村 則史 | |
| 事務局 | 学務課 吉羽主幹 指導課 濁川副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、矢野主任、前平主任、石川技師 | |
| 会議事項 | 1 議 題 | 2 会 議 結 果 |
| | (1) 通学区域を分ける場合の特例措置について ① 選択できる小学校について ② 対象者について ③ 中学校について | 別紙「議事の経過」のとおり |
| | (2) 再編方法の振り返りについて | |
| | (3) 再編検討協議会後の取り組みについて | |
| | (4) その他 | |
| 議事の経過 | 別紙のとおり | 傍聴者数 3名 |
| 会議資料 | 別紙のとおり | |
| 議事のてん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 | | |
| 令和7年11月26日 | | |
| 議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u> | | |
| 議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ) _____ | | |

議 事 の 経 過

| 発 言 者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------|--|
| 会長 | <p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>議題 (1) 通学区域を分ける場合の特例措置について</p> |
| 事務局 | [事務局より会議資料に基づき説明] |
| 会長 | <p>まず、通学区域を分ける場合の特例措置のうち「①選択できる小学校について」何かご意見ございますか。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p> |
| A委員 | <p>私は選択制が良いと思っています。例えば、丸山公園付近の高台に住んでいる子どもは平方北小に通っていますが、道を挟んだ反対側の若竹ホームという施設の子ども達は大石南小に通っています。距離で考えると10mないくらいです。保護者と子ども達の気持ち次第だと思いますが、安全性を考えると丸山公園付近の子どもは、平方北小に通った方が安全です。私は時々若竹ホームの子ども達を送迎していますが、大石南小まで行く道は危ないと感じるところが多いです。</p> <p>こういったことを加味して、保護者の方が決めるができる完全な選択制が良いと思います。</p> |
| 会長 | ありがとうございます。他にご意見ございますか。 |
| B委員 | <p>家から近い指定校だけでなく、近隣校を選択できるということでしたが、基本的には遠いところへわざわざ通うことはしないと思います。</p> <p>A案、B案で比較するのであれば、指定校の他に近い学校であれば選択できるというA案の方が、より分かりやすいかなという気がしました。B案のように全て選べるとなると、逆に絞ることが難しいのではないかと思います。最終的には親が決定すると思うので、安全性を加味して個別に判断していくのが良いかなと思いました。</p> |
| 会長 | ありがとうございます。他にご意見ございますか。 |
| C委員 | 前回、中学校の決め方で小学校の決め方が変わるというお話をあつたかと思います。中学校についても選択制にするのか、学区通りにするのかということも影響を及ぼすと思いますので、全ての近隣校を選択できる形が将来的には良いのではないかと思います。 |
| 会長 | B案の方が良いということですね。 |
| C委員 | そうですね。距離で選ぶ方もいればそうでない選び方もできるということです。 |

| | |
|-----|---|
| 会長 | ありがとうございます。他にご意見ございますか。 |
| D委員 | <p>全ての近隣校を選択できるとなった場合、平方小、平方東小、大石南小の学区が広がることになります。引っ越しした後も今の学校に通い続けるために、友達と合流するところまで、親が送迎して通学するという話はよく聞きます。ここまで学区を広げた場合、例えば大石南小に近い小敷谷の子どもが、平方小を選択した場合そこも平方小の学区とするのであれば、先生はそこまで管理することになるのでしょうか。</p> <p>年度初めにある一斉下校では、先生達が自分の担当している地域の子たちの班についてきてくれます。例えば小敷谷の子たちが平方小に行く場合、先生は小敷谷までついて行って、また学校へ戻ることになると先生が大変だなと思います。近い距離で選択できる分にはいいかも知れないですが、あまりに遠いところまで学区を広げることもデメリットがあると思います。</p> <p>しかし、もし選択できる範囲が広く、距離が遠い場合はバスに乗れるのであれば、近い学校よりもバスで通える学校を選ぶかもしれません。</p> |
| 会長 | 選べる方が良いかもしれません、条件によって選択が変わってしまうということですね。 |
| D委員 | <p>例えば、近隣校が平方東小だが、平方小を選択した場合はバスに乗れるとなると、私は子どもが安全に通学できるバス通学を選ぶと思います。</p> <p>距離が伸びた場合にバスを導入することは前向きに検討していただけますか。これまでバスは出した方が良いといった意見が出ていますが、それに対して今のところ答えもないです。バスができるかどうかも、選択する際の大きなポイントになると思います。</p> |
| 会長 | バスの件については、ここでは意見を伺って次の段階で判断ということになると思います。 |
| E委員 | 学期初めだけでなく、先日の天気が悪い日に一斉下校がありました。迎えに行こうか悩んでいるうちに、先生達がついてきてくれたことがありました。そういった時に距離があると先生達がついてきてくれるのは難しいのかなと思ってしまいます。 |
| 会長 | ありがとうございます。 |
| F委員 | <p>一斉下校時に私も1年生と一緒に帰りましたが、家が違う方向だからと1人で帰ってしまう子がいました。先生はその子についていって、残った子ども達も行ってしまい、結局別れて下校し先生がもう1回来てくれる流れになりました。</p> <p>近さで選ばないと安全面で不安があります。子どもが1人で帰ることになってしまふので、後から別の学校にしたいとはできないと思います。近所の子と別の学校になってしまったり、他の子は学童だったりで、親が送迎できず1人で帰ってくることになると思うと心配です。全部選択できる方はバスが使えるかどうかありますが、そういった懸念があると思います。</p> |

| | |
|------|---|
| 会長 | その他ご意見ござりますか。 |
| C 委員 | 鴻巣市の事例はいつ頃のお話なのでしょうか。 |
| 事務局 | 令和 7 年度 4 月より他校へ統合となりました。 |
| F 委員 | 大きなトラブルなどは起こっていないのでしょうか。 |
| 事務局 | ヒアリングした限りでは、大きなトラブルがあったとは聞いておりません。 ほとんどの方が皆で同じ学校へ通えることを希望し、指定校ではなく選択校を選んだと聞いています。 |
| G 委員 | 対象者についてですが、B 案の調整区域とするというのは実際に可能なのでしょうか。 必ずしも本当に一番近い小学校が通学区域になっているとは限らないと思います。そういった他の地域へも同様の対応をしていくと、段々と調整区域を広げていかないといけない状況になってしまうのではないでしょか。B 案が本当に続けていけるのかどうか。継続できないような案であれば、それはおかしなことだと思います。各小学校があつて今のエリアがありますよね。それが本当にきれいに均等になっているのであれば良いですが、そんなことはありえないと思います。 再編時の切り替え時期は、しょうがないと納得できると思いますが、何年後かにはそれを不公平に感じる人も出てきてしまい、調整区域の考え方方が継続できないのではないでしょか。 |
| 事務局 | 今回平方北小学区の中で調整区域を設けたとして、例えば平方小学区だが平方東小に近い地域からもそういった話が出てくるのではないかというお話でよろしいですか。 |
| G 委員 | 調整区域の考え方方が導入できるのであれば、他の地域からもそういった話が出てくる可能性がないとは言い切れないで、そういったことも含めて考え方の整理や学区の整理というものをていった方が良いのではないかなどと思います。 |
| 事務局 | ありがとうございます。 |
| 会長 | 続いて「②対象者について」ご意見ある方はいらっしゃいますか。 |
| B 委員 | A 案について確認させていただきたいのですが、きょうだいがいるお家で上の子が在学中に下の子が入学してきた場合は、上の子と同じ学校も選択できるが、逆に言うと、上の子が中学校へ進学した後に小学校に入学する場合は、上の子が選択した学校には行けないという意味でよろしいでしょうか。 |
| 事務局 | 運動会などの行事は同じ学校の方が良いのではないかという観点を踏まえたものです。 |

| | |
|-----|---|
| B委員 | 年の離れたきょうだいもたまにいるので、それを踏まえて私としてはA案で良いのではないかなと思います。B案まで広げてしまうと上の子が遠い小学校を選んだために、年が離れた下の子にも選択肢が与えられます。選択肢を与え続けていると管理する側も大変だと思うので、A案の方がより良いかなという印象があります。 |
| 会長 | ありがとうございます。他に何かございますか。 |
| 副会長 | 学校側から言えば、対象者を限定しない場合だと非常に不確定要素が多くなってしまいます。極端な例だと、1人入ってくるか来ないかで学級数が変わってしまうこともあります。学級数は教員数と直結しています。長年そういったことが起きてしまうのは、非常に不安定な要素があると思います。 |
| 会長 | では、最後に「③中学校について」ご意見ございますか。 |
| D委員 | <p>中学校は選択制が良いと思います。</p> <p>中学生になると子どもの意見が強くなります。実際に今上尾市では、中学校によってある部活とない部活があるため、部活を理由に違う中学校に通うということを、平方北小に限らず他の小学校でも申請して行っている人がいます。例えばサッカーを習っていて、学区通りの中学校にサッカーチームがない場合、サッカーチームのある中学校を探して申請している方もいます。</p> <p>学区を決めていても中学校の方が、部活理由や色々な理由で移動ができてしまっている現状が今あるので、固定をせずに柔軟に対応できる選択制も良いのではないかなと思います。</p> <p>また、大石南中も再編検討の対象になるため、中学校は3年間と短いので、大石南中に進学した後また2回目の再編が起こることは考えにくいですが、場合によっては小学校も合併して、中学校も合併してとなると親としては思うところがあります。選択できるのであれば、再編対象になっていない太平中を選びたいなと思ってしまいます。大石南中に行った方が、大石南中の在校生が増えるという利点があると思いますが、進学先を固定されると、ここに住んでいる場合すこし嫌だなと正直なところ思ってしまいます。</p> |
| 会長 | ありがとうございます。 |
| F委員 | <p>そうなると大石南中を選ぶ人がかなり減ってしまうと思います。私自身大石南中は家からかなり近いのですが、あえて40分かけて私立の違う中学校に通学していました。太平中がどんな学校かわかりませんが、みんな選びたいのかなと思います。大石南中の裏をこの前通ったのですが、使っていないバスケットボールのコートが古かったり、木々が多く森のようになっていて、そういった様子を見てしまうと、選択できる場合、保護者は太平中を選んでしまうのかなと感じました。</p> <p>先ほどの②対象者についての話になってしまうのですが、A案の対象者を限定する場合だと中学校についても上の子と別の中学校になる可能性があるということですね。今回もそれぞれの場合でのメリット・デメリットを挙げていただきました。</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>きょうだいで学校が変わることによって、上の子の持ち物が下の子に使えないかなとも思ったのですが、6才以上離れていれば持ち物も変わってくるので、中学校では同じ学校のメリットはそこまでなく、先ほどの管理側の問題になるのかなと思いました。</p> |
| 会長 | 現状で平方北小の児童は大石南中と太平中に分かれるので、大石南中か太平中かを選択できるようになるイメージですかね。 |
| F委員 | そうですね。 |
| A委員 | <p>中学生の場合は、自転車通学がほぼほぼ許されるのでしょうか。</p> <p>太平中を通り越して違う中学校に行く方が何人もいて、学区が合っていないような気がしますが、自転車通学が許されるのであれば、太平中を通り越して違う中学校に行く理由がありますよね。例えば、サッカーチームがないとか、自転車が使えるのであれば、歩くより自転車通学が楽だという意見も聞きました。私が知る限り何人もいますが、先ほど言った丸山公園の一番遠いところの方は、隣の子は太平中に通っていますが、もう一軒、二軒先の子は自転車通学が許可されているので、先の中学校に通っています。なので、今中学校の事はあまり考えなくても良いかなという気がします。</p> |
| 事務局 | 学校が距離等を考慮し許可しているので、もしかしたら学校ごとで条件が違うのかもしれません。 |
| 会長 | その他ご意見ござりますか。 |
| H委員 | <p>小学校も中学校もとりあえず自由に行けるようにして、統制が取れるのかなという気がします。例えば、自由に選択できるとしたら保護者の人は良いと思います。逆に決めてしまうと、今度は反発が増えると思うので、どちらを選んでも難しいと思います。</p> <p>ただ住民としては、選択制したことであちらこちらの学校に通うことになると統制がとれるのかなと思ってしまいます。また、選択制となつた場合は、きょうだいの話だけでなく友達関係も絡んでくるので、いずれにしろ難しい問題があると思います。</p> <p>どちらにしても10年後の人々に、色々な意見が出てきちんと検討したと言えることが大事だと思います。通学路の危険な箇所も10年後は変わっているかもしれない。そういう問題は逐一解決していく問題だと思います。スクールバスについても、今学校が遠くて通うのが大変という人も、スクールバスができれば遠くて良かったと思うようになるかもしれない。先々のことはわからない部分もあるので、この2案についてきちんと検討したということで良いのかなと思っています。</p> |
| 会長 | ありがとうございます。ここではそれぞれの案についてご意見をいただく場としたいと思います。 |
| C委員 | 現在大石南中は生徒数がだんだん減ってきてますが、丸山団地を含めて②の平方小が指定校となっている部分の子達は、距離の遠い太平中へ通っています。 |

| | |
|-----|--|
| | <p>大石南中の方が、距離が近いので、大石南中学区であれば、大石南中はそこまで人数が減ることもないのかなと思います。</p> <p>大石南中の人数が多い時代に決めた学区がそぐわなくなってきたというのが、やはり今決めた事が時代を追ってみると、思惑と違ったということが起こる例なのだと思います。適正学級の人数についても、今後子どもが減っていけば適正学級自体が適正でなくなる時代がくるのかなと感じます。そう考えると暫定的な事しか考えられないなと思います。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p> <p>他にないようですので、続きまして再編方法の振り返りについてご説明をお願いいたします。</p> |
| | <p>議題</p> <p>(2) 再編方法の振り返りについて</p> |
| 事務局 | [事務局より会議資料に基づき説明] |
| 会長 | <p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p> |
| C委員 | <p>平方北小は自分の子どもが通っていた学校でもあり、地域の防災施設でもあります。平方北小が今後どういった形になっていくのかを話し合うこの場に参加させていただいて、ここで話し合ったことが今後に影響するとなると怖いなという気持ちがあります。子どもはすでに成人しているので、子どもの立場に立ってどれだけ考えられているかという不安もありますが、親御さん達とお話をすると中で、そういえばそうだったなと思い出しながら、子どもを優先にしつつ、学校の事情も踏まえた色々な考えを見聞きできたため、参加させていただいて良かったなと思いました。</p> <p>どういった結果になるかわかりませんが、子ども達が安全で楽しく学ぶことを持続できるように出来る事を考えてまいりました。</p> |
| 会長 | ありがとうございます。 |
| A委員 | <p>そろそろ来年度の新1年生の保護者さんへの説明会が開催されるかと思います。平方北小学校再編の件は結構知られているので、説明会の際に質問される可能性が高いと思います。その時に誰がどう説明会するのか、非常に難しいとは思いますが、ある程度の答えを出さないといけない時期になってくるのではないかなど感じています。</p> |
| F委員 | 今は意見を出し合っている段階で、再編方法についてはまだ決まってないという事ですよね。 |
| 会長 | はい。検討している段階ということです。 |

| | |
|-----------------------------|---|
| A委員 | 検討中で保護者の方は納得できるのでしょうか。私が親の立場であれば、はっきりして欲しいと言いたくなってしまうと思います。 |
| 会長 | まだ意見を伺っている段階で、早急に決めてしまうのも問題があります。 |
| A委員 | 難しいですよね。 |
| F委員 | はっきりして欲しいと思っている方は、駅前などに引っ越して、結構転校してしまっています。 先ほどの丸山団地の子達は大石南中が近いとのいうのを聞いて、丸山団地の子達が太平中ではなく大石南中に行けて、①の大石南小が指定校になる子達がどちらも選べるのがいいのかなと思います。 選択制にした場合、大石南中ではなく太平中に皆行ってしまうというような事を言ってしまいましたが、②の平方小が指定校になる地域の子達が、距離が近い大石南中に進学すれば、少し大石南中の人数も増えるのかなと思いました。 |
| 会長 | ありがとうございます。 |
| D委員 | 中学校について選択制ではなく従来の学区通りとした場合、①の大石南小が指定校の地域の子が平方東小を選んだ場合、進学する中学校は大石南中となってしまいます。平方東小は太平中の隣にあります。平方東小に6年間通ってきたのに、学区の問題で隣にある太平中に通えず大石南中へ通うというのは、人間関係もまた1から築き上げないといけないですし、子どもの心境としてはかわいそうなのかなと思います。そういう意味で選択制の方が良いのではないかと発言させていただきました。 |
| 会長 | 選択制となった場合にお子様や保護者の方がどういったところ基準として考えるのかによるのかなと思います。 |
| D委員 | 平方東小の場所の問題で、隣にある太平中を通って通学する子も多いです。もし、太平中が敷地から見えない遠い所にあった場合はまた考え方方が変わるかもしれません、そういう立地の部分も関係するのかなと思います。 |
| 会長 | 距離の問題など、何を優先にするかにもよるのかなと思います。 |
| D委員 | もちろん距離の問題で大石南中を選ぶ方もいると思います。 |
| 会長 | その他ご意見ございますでしょうか。 では、これまで協議してきた内容について報告書の形で意見をまとめしていくという方向になるかと思います。 |
| 議題 (3) 再編検討協議会後の取り組みについて | |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 〔事務局より会議資料に基づき説明〕 |
| 会長 | ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。 〈主な質疑・意見〉 |
| C委員 | 議会への報告というようなものはないのでしょうか。 |
| 事務局 | 通学区域審議会の審議を踏まえて、教育委員会へ答申が返されます。再編方法が決定した後に、議会報告という形になると思われます。通学区域審議会にも議員さんが何名か入られていますし、その場である程度お話をいただけるのかなと思います。議会へは再編方法決定までの間、お話があると思いますので答弁等でお答えすることになると思います。 |
| F委員 | 次年度に予備日との記載もありますが、2月3日が最終ということでおろしいでしょうか。 |
| 事務局 | 皆様の任期は来年度の6月までありますが、そこまでいかない方が良いのかなと思い、こちらのスケジュールで考えているところでございます。 |
| F委員 | 予備日については、何かあったらという事ですね。 |
| 事務局 | 取りまとめた内容を最終的には冊子状にするつもりですが、追加した方が良い内容がある場合や、一度議論を挟まなければまとまりきらないなというものがあれば議論をはさみますので、予備日を設けています。 |
| F委員 | それが全て終わってから、資料にある教育委員会にて再編案を作成という流れなのですね。 |
| 事務局 | 協議会の内容を取りまとめた結果については、教育委員会へ一度報告し、その後再編案を作成して、審議会にかけていくことになると思います。 |
| F委員 | わかりました。 |
| 会長 | その他何かございますか。ではないようですので、最後にその他でございますが事務局からございますか。 |
| 事務局 | 1点、今後の予定について申し上げます。次の協議会は12月2日を予定しております。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。以上です。 |
| 会長 | ありがとうございます。以上で議事を終了しますので、進行を事務局にお返しいたします。 |
| | 閉会 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | 長嶋会長ありがとうございました。本日予定しておりました第7回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願ひいたします。 |
| 副会長 | 以上をもちまして、第7回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。 |
| 事務局 | 青木副会長ありがとうございました。第7回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様ありがとうございました。 |
| 以上 | |